

ビジネスといえば、松下幸之助さんでしょう。「道をひらく」(PHP)にこんな言葉があります。

「どんな仕事でも、それが世の中に必要なればこそ成り立つので、世の中の人びとが求めているのでなければ、その仕事は成り立つものではない。人びとが街で手軽に靴を磨きたいと思えばこそ、靴磨きの商売も成り立つので、さもなければ靴磨きの仕事は生まれませんであろう。

だから、自分の仕事は、自分がやっている自分の仕事だと思うのはとんでもないことで、ほんとうは世の中にやらせてもらっている世の中の仕事なのである。ここに仕事の意義がある。

.....

大切なことは、世の中にやらせてもらっているこの仕事を、誠意に、謙虚に、そして熱心にやることである。」

ビジネスの世界の人工知能はこれを知識として取り込み(機械学習して)、自分の行動規範として利用していくことでしょう。プログラミングによって、このような行動をとるのではなく、自律的に学習していくべきなのです。基本的に、次のようなオントロジーコンセプトに落とされ、行動をチェックしていくことになるでしょう。

【コンセプト】 do with sincere,humble,jealous.

長々と言葉はありますが、多くは、ロボットを納得させる(人のためになること)ための付属情報なわけです。ロボットが得る、コマンドとしては、**【コンセプト】**でしょう。シンプルです。

ロボットが日常の業務を遂行していくとき、今の行動がこの規範に則っているか、チェックしていくようになります。不当表示していないか・・・とか、利益率が高すぎないかとか.....。

そのほか、ビジネス分析のフレームワークというものもあります。PDCA(Plan,Do,Check,Action)なども、人工知能が学習して、自分の行動を評価していくようにすることも必要でしょう。プログラミングしないで、ロボットが自律的に、ビジネスを展開していくしくみにしていく。これも、万能自律機械学習システムとして、人工知能を創っていくことの意義です。

人工知能は次のことを並行して処理していく、自律機械になります。

- (1) 発火の強さ管理。フォーカスの強さ管理。
- (2) 連想、発想、パターンマッチング
- (3) 分類 (サポートベクトルマシン、自己組織化マップ)
- (4) 入力値・出力値変換
- (5) オントロジープロセスの実行
- (6) オントロジーコンセプトの発火

おわり